



蓮代寺こども園では、子どもたちの思いを大切にしながら、日々子どもたちと一緒に楽しく食育活動、自然体験、エコ活動をすすめています。今回はSDGs宣言「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標12 つくる責任つかう責任」の活動について紹介します。

## モノを大切に使っています

レゴブロックやラキューは5歳児の子どもたちに人気の玩具です。時折、床に壊れたかけらがみつかったり、「黒のパーツが足りない」などの声があったりします。

そこで遊び方について話し合いをしました。「なんで壊れたりなくなったりするのか？」と問いかけてみると「落としてもすぐに拾わなかったから」「片付けなくて出しっぱなしにしていたから」という返事が返ってきました。子どもたちには、モノを大切に扱うことや遊び方、片づけ方について考える機会になりました。



蓮代寺こども園では、3歳以上児が陶器の食器を使用しています。落とすと割れることがあり、食器の返却の際に「ガシャン」と音がすることもあります。失敗も良い経験となっていて、繰り返し使用する中で丁寧に扱うことができるようになってきています。

玩具を含め「モノ」を作るには、いろいろな資源が必要です。また、「モノ」は壊れると「ごみ」になってしまいます。この「ごみ」の焼却にも多くのエネルギー資源を使います。さらにはモノを製造し、ごみを焼却する過程では温室効果ガスが発生します。みんなで使う物だからこそ長く大切に使うこと（リデュース）、ごみを出さないことを遊びや生活の中で学んでいけたらと思います。

## とてもエコな布オムツ!

蓮代寺こども園では、布オムツとさらし木綿を使用しています。大便の後には、濡らしたさらし木綿でおしりをきれいに拭き取ります。



オムツカバーのサイズは4種類あります

布オムツは、洗って繰り返し使うことができるため、紙オムツの使用量が減る分、ゴミの削減につながっています。また焼却ゴミが減る事によって、現在、環境問題として多く取り上げられているCO<sup>2</sup>削減にもつながっています。



布オムツは綿素材で出来ていて肌に優しく、こまやかな保護を必要とする3歳未満児にとって最適です。また、オムツが濡れて不快に感じていないかと保育者もこまめにオムツ替えを行います。その都度丁寧にに関わり、スキンケアをたくさんとる事で子どもたちとのつながりもより深いものになっていきます。

そろそろおしっこが出た頃かな?



きれいになったね 気持ちいい

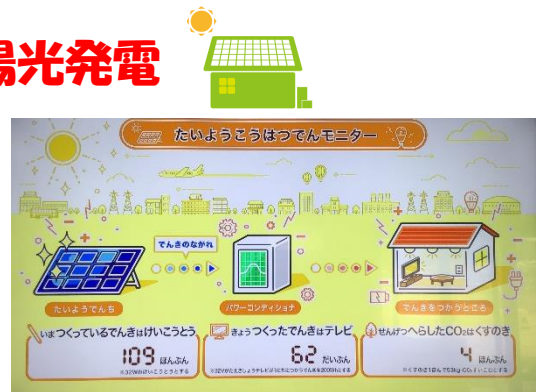
## お日様のかってすごい!! 太陽光発電



クリーンエネルギーは、地球温暖化の原因となる物質を排出しない或いは排出が少ないエネルギーで、持続可能な未来にとってかせませません。太陽光発電もその一つです。

蓮代寺こども園の屋上には太陽光パネルがあります。太陽が出ている間は発電し、園内の電気機器の一部がまかなわれ節電につながっています。また玄関ホールには、どれだけ発電したかを表示しているモニターがあり、職員室には電気の使いすぎをアラームで知らせるデマンド装置があります。

子どもたちとともに、エネルギーのことを話題にしたり、使わない部屋の電気をこまめに消すなどしたりして節電に努めています。



モニターでは、時間毎にTVを何台分使用できる電気が作られたかがわかるようになっています。

社会福祉法人大和善隣館のSDGs宣言の「6つの目標」の内、次の3つについて子どもたちと共に取り組んでいます。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

太陽光発電活用等を通じてCO<sub>2</sub>排出の削減に努めます。

11 住み続けられるまちづくりを

安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。

12 つくる責任つかう責任

ICTを活用したペーパーレス化及び食品ロスの削減を推進します。